

ジョゼフ・コースス

Joseph Kosuth

Including a Survey of Works: 1965-1999

1999年12月21日(火)～2000年2月6日(日)  
Tuesday, December 21, 1999 - Sunday, February 6, 2000  
休館日: 毎週月曜日(1月10日は開館)と12月29日～1月3日  
開館時間: 10:00～18:00 (金曜日は20:00まで)

千葉市中央区中央 3-10-8 Tel.: 043-227-8600

協力: 日本航空/アートフロントギャラリー Cooperation: Japan Airlines / Art Front Gallery

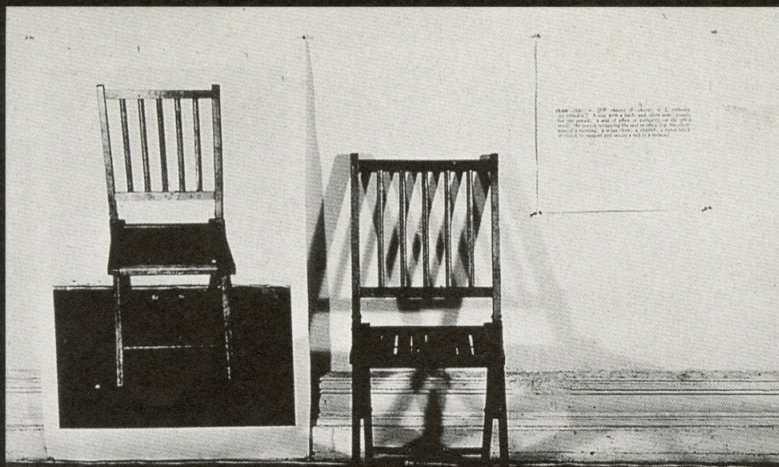
Chiba City Museum of Art

千葉市美術館

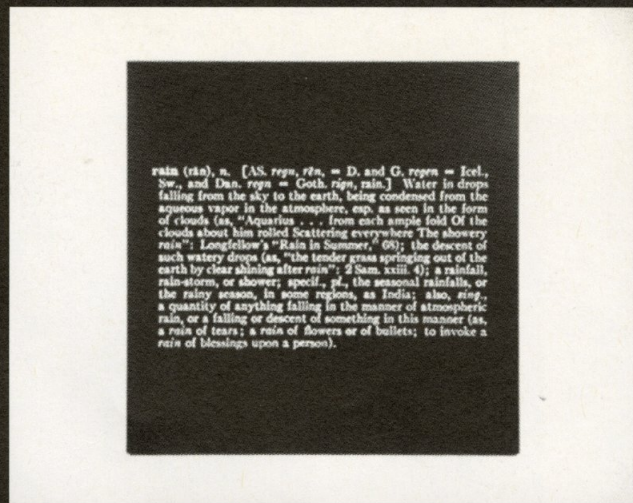
Guests and Foreigners: The Years of Isolation

1965-1999 訪問者と外国人、孤立の時代

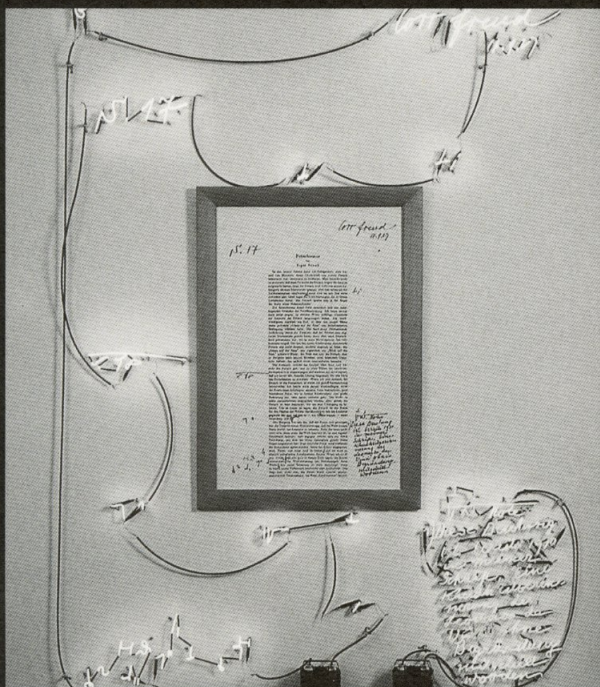




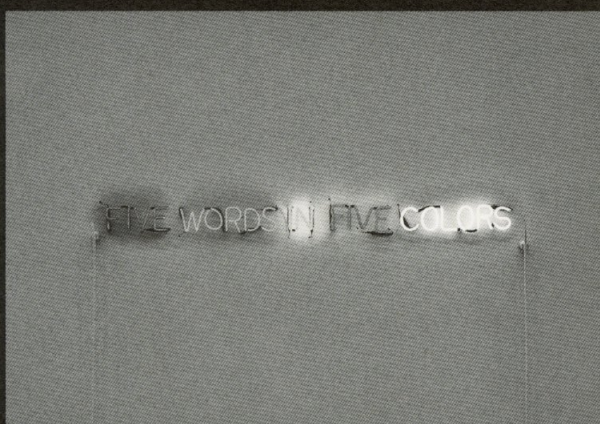
《1つと3つの椅子》1965年 作家蔵



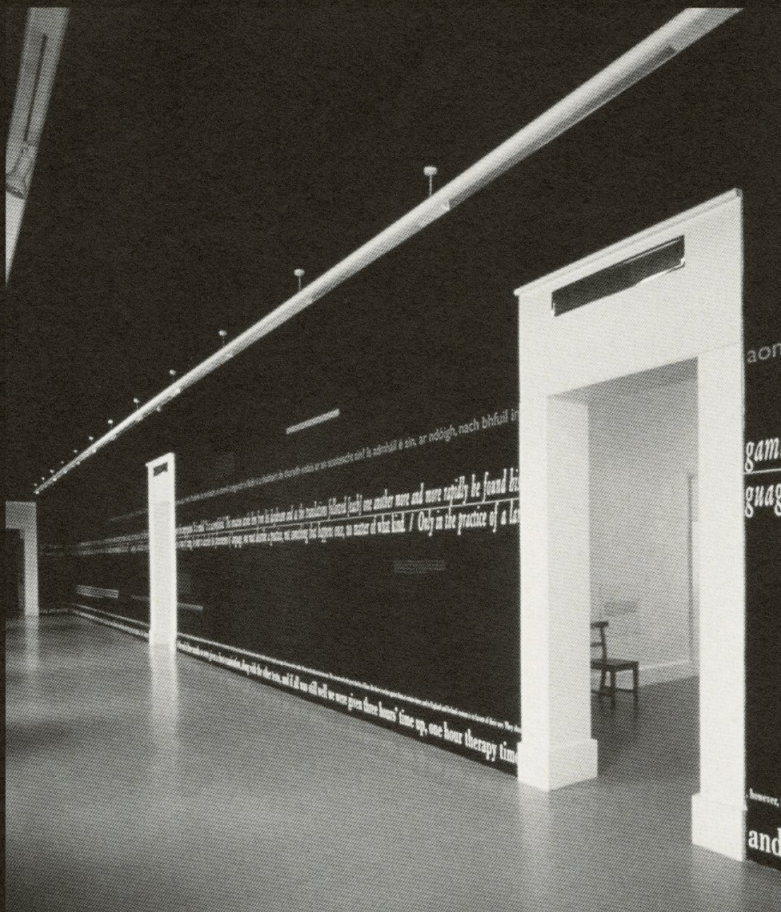
《タイトルド (Art as Idea as Idea)、Rain》1967年 静岡県立美術館蔵



《フェティシズム・コレクテッド、グリーン》1985年 作家蔵



《5つの色の5つの語》1965年 千葉市美術館蔵



《訪問者と外国人、規則と意味》1997年 [アイルランド近代美術館での展示]

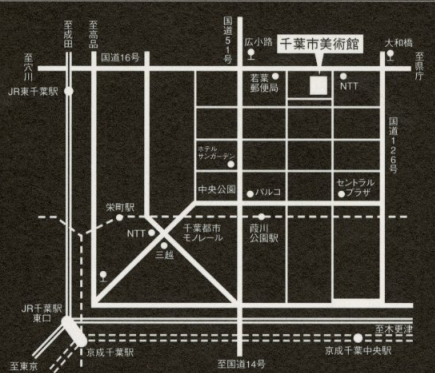
ジョゼフ・コーススは、60年代末から70年代初頭にかけて、世界的に多様な展開をみせたコンセプチュアル・アート(概念芸術)を代表するアメリカの芸術家です。コンセプチュアル・アートは、完成した作品自体や素材といった作品の物質的側面よりも、作品を成り立たせる概念(コンセプト)を重視する傾向です。コーススは、作品のなかに言葉を持ち込むことで、かたちの独創性という視覚芸術にとって不可欠と思われてきた要素を大胆に否定しました。本展は、コーススにとって国内初の大規模な個展となります。1965年以降の代表作(約35点)と、千葉市美術館のために制作される、江戸時代日本の「鎖国」をテーマとした新作インスタレーション(訪問者と外国人、孤立の時代)から構成されます。

開館時間:10:00~18:00(入館受付は17:30まで)  
 金曜日は10:00~20:00(入館受付は19:30まで)  
 観覧料:一般800円(640円)/大・高生560円(450円)/  
 中・小学生240円(200円)  
 \*( )内は団体(30名以上)および前売料金

【関連イベント】

- 1) ジョゼフ・コーススビデオ上映会  
 自作と新作インスタレーションについて作家みずから解説するビデオを上映します。  
 日時:1月23日(日)午後2時開演  
 会場:千葉市美術館映像コーナー(7階)
- 2) 現代美術入門講座  
 1月29日(土) 講師:米田耕司氏

- 「国際言語「美術」の時代」  
 1月30日(日) 講師:佐藤 毅氏  
 「(わからない)から(おもしろい)」  
 2月5日(土) 講師:木村悦雄氏、山本勝彦氏、塩入敏治氏  
 「サラリーマン・コレクター三人三様」  
 時間:全て午後2時開演  
 会場:千葉市美術館講堂(11階)
- 3) さや堂コンサート  
 日時:12月25日(土) 午後2時開演  
 内容:ピアノとヴァイオリンによるクリスマス・ソング  
 会場:千葉市美術館さや堂ホール(1階)
- \* 全て入場無料。3)のみジョゼフ・コースス展のチケット(招待券不可)が必要。12月15日10時より予約を受け付けます。  
 [Tel.043-221-2311] 定員になり次第締め切ります。



【交通案内】  
 ■JR総武線千葉駅東口より  
 ●徒歩約15分 ●京成バス大学病院行(のりば7)「大和橋」下車徒歩2分 ●京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば7)あるいは小湊バス八幡宿駅行(のりば4)「広小路」下車徒歩1分 ●千葉都市モノレール県庁前行「霞川公園」下車徒歩5分 ●無料巡回シャトルバス「チーバス」(のりば9)「中央区役所・美術館前」下車(駅前を11:05~18:05の毎時05分と35分に発車・水曜日運休)  
 ■京成千葉中央駅より徒歩約10分